

□ ITF-7200コミュニケーションツール

取扱説明書

一第 2 版一

梅沢技研株式会社

目次

1. 概要	1
1-1. 概要	
1-2. 主な特徴	1
2. 使用方法	2
2-1. コミュニケーションツールのインストール	2
2-2. ツール起動	2
2-3. ITF-7200とPC間の通信設定	
3. 設定方法	5
3-1.本体設定	5
4.設定ファイル選択/保存	
4-1. 設定ファイルの選択	
4-2. 設定ファイルの保存	
5. 設定送信/設定受信	12
5-1. 設定送信	
5-2.設定受信	13
5-3.受信内容	
6. デフォルト設定	15
6-1. デフォルト設定	
7. ツールの終了	16
7-1. ツールの終了	

1. 概要

1-1. 概要

本仕様書は、ITF-7200に対してパソコン(以下PC)より各種設定を行うための コミュニケーション・ツールについて記述したものです。

1-2. 主な特徴

本ツールの主な機能としては以下の通りです。

- (1) 本ツールにて各種設定を網羅します。
- (2) 本ツールにて各種設定ファイルの読出し/書込みが可能です。
- (3) 本ツールにてITF-7200への設定データ送信/ITF-7200からの設定データ受信が可能です。

2. 使用方法

2-1. コミュニケーションツールのインストール

コミュニケーションツールのインストール方法は、「ITF-7200コミュニケーションツールインストールガイド」をご覧 ください。

2-2. ツール起動

(1) デスクトップ上のITF-7200コミュニケーションツールのショートカットをダブルクリックして本ツールを起動します。



(2) 下記の様な起動画面が表示されます。設定項目は全て未設定で起動します。

ITF-7200コミュニケーション・ツール起動画面

Ⅲ ITF-7200コミュニケーションツール Version 4.0.0.0				-		Х
: ファイル(F) 設定(C) ヘルプ(H)						
本体設定予備						
01. HDMIの表示サイズ指定	No Data 🗸 🗸	10.EDID取得待機時間	No Data \sim			
02. 出力モードHDMI DVIの切り替え	No Data	11.SDI切断検知	No Data			
03. HDCPモードの切り替え	No Data	12.SDI切断待機時間 ※11でSDI切断検知が「入力連動」選択明	No Data 〜			
04. SDI LOOP OUT	No Data 🗸 🗸	13. HDMI&SDI切断検知条件	No Data			
05. HDCPマスク色	No Data					
06.HDMI切断検知時間	No Data \sim					
07.スケーラ機能 無/有 ※01で入力解像度を500~17に指定時のみ、 スケーラ無(入力)に追びに対応します。 本項目験テジダイン さいの変換を更少してください。	No Data					
08.スケーラアスペクト 維持/無視	No Data					
09. HDCP再設定	No Data					
設定受信 設定送信	設定ファイル名	設定ファイル	選択 設定ファイル保存	デフォルト設	定	
ソフトウェア バージョン情報 FPGA	バージョン情報	SDIフォーマット SDD水平有効	b解像度 SDI垂直有効ライン数 S	SDIフレームレ	-ト	



2-3. ITF-7200とPC間の通信設定

概要:

ITF-7200とコミュニケーションツール (PC) との通信方法を設定します。

(1) コミュニケーションツール上部の設定ボタンをクリックし、通信ポート選択画面を開きます。

ⅢF-7200⊐ミュニケーショングール Version 4.0.0.0	-	×
: ファイル(F) 設定(C) ヘルプ(H)		
本体設定予備		

通信ポート選択画面

ITF-7200コミュニケーションツール	– 🗆 X
・通信ポート	COM1 ~
ОК	キャンセル

(2) 通信ポート選択

[RS-232C通信]

通信ポート PC側のCOMポートを選択してください。

[COMポート確認例]

コントロールパネル→すべてのコントロール パネル項目→デバイスマネージャー→ポート(COMとLPT) より確認できます。



(3) 設定実行



設定内容は「ITF-7200コミュニケーションツール」フォルダの「config.ini」に上書きされます。フォルダは、インストールの際に「C:¥」に作成されています。

📙 💆 📙 🖛 ITF-7200コミュニケーションツール			_		×
ファイル ホーム 共有 表示					~ ?
← → ∽ ↑ <mark> .</mark> « Win > ITE 720 >	√ Ō	ITF-7200コミ	ユニケーショ	ロンツール	Ą
USBK ⁵ 71/t config.ini ITF_7200Tool.exe					
3 個の項目					· ·



3-1. 本体設定

- (1) 画面内の各種設定項目を下記に従い選択していきます。
- (2) 設定方法

設定ボタンをクリックして該当する設定値を選択します。 尚、ボタンカラーは未設定値に関してはイエロー、デフォルト設定値はグリーン、 それ以外に関しては、ピンクで表示されます。

本体設定画面

11F-72004ミュニケーションツール Version 4.0.0.0					×
: ファイル(F) 設定(C) ヘルブ(H)					
◆1◆設定 予備					
01. HDMIの表示サイズ指定	S01 1920×1080p ~	10. EDID取得待機時間	0秒 ~		
02. 出力モードHDMI DVIの切り替え	HDMI	11. SDI切断検知	常時出力		
03. HDCPモードの切り替え	常時ON	12.SDI切断待機時間	即時		
		※11でSDI切断検知が「入力連動」選択時	のみ有効です。		
04. SDI LOOP OUT	UM⇒UM ∨	18. HDMI&SDI切断検知条件	SDIキャリア		
05. HDCPマスク色	黒				
06. HDMI切斯検知時間	常時出力 >				
07.スケーラ機能無/有 ※01で入力解除度を500~17に指定時のみ、 スケーラ無(入力に36次)に対応します。 本項目設定後は、本体の電源を再投入してください。	スケーラ無(入力に追従)				
08. スケーラアスペクト 維持/無視	アスペクト維持				
09. HDCP再設定	繰り返し				
					_
設定受信 設定送信	設定ファイル名	設定ファイル道	諸択 設定ファイル(保存	デフォルト設定	
ソフトウェア バージョン情報 FPGA	バージョン情報	SDDォーマット SDb水平有効i	解像度 SDI垂直有効ライン数	SDI7U-4U-h	

[01. HDMIの表示サイズ指定]

HDMIの表示サイズの指定を行います。

設定 : プルダウンから設定したい解像度を選択します。

[02. 出力モードHDMI DVIの切り替え] 出力モードの設定を行います。

HDMI : HDMIフォーマットで出力します。

DVI :DVIフォーマットで出力します。

3. 設定方法

[**03. HDCPモードの切り替え**] HDCPモードの切り替え設定をします。

常時ON:常にHDCPをONします。 HDCP未対応のディスプレイを使用した場合、ディスプレイ画面に映像は表示されません。

自動判別:接続される機器によって、HDCPの自動判別を行います。

[04. SDI LOOP OUT]

SDI LOOP OUTの出力フォーマットの設定を行います。

設定可能項目 :プルダウンから設定を選択します。

[05. HDCPマスク色]

[09. HDCP再設定]で「マスク画面出力」選択時に表示されるカラーを設定します。

黒色 : HDC Pマスク時に表示されるカラーを黒色に設定します。

グレー : HDC Pマスク時に表示されるカラーをグレーに設定します。

[06. HDM I 切断検知時間]

SDIの信号がない場合、HDMI信号を切断するまでの時間を設定します。

設定可能時間 :プルダウンから時間を選択します。 常時出力(黒画面出力)、30秒、60秒、120秒、即時から選択できます。

[07. スケーラ機能 無/有] スケーラ機能の有無の設定を行います。スケーラ機能を設定することで、入力映像信号よりも大きい解像度に 変換して拡大表示、小さい解像度に変換して縮小表示することができます。

スケーラ無(入力に追従) :入力したサイズで送信します。 ※[01.HDMIの表示サイズ指定]をS00~17に設定時のみ有効となります。

3. 設定方法

[**08. スケーラアスペクト 維持/無視**] スケーラアスペクトの設定を行います。スケーラ機能が「スケーラ無」の場合、設定は無効になります。

アスペクト維持 : アスペクト比を維持したサイズ変更を行います。

アスペクト無視:アスペクト比を無視したサイズ変更を行います。



[**09.HDCP再設定**] HDCPの接続エラーが発生した時の動作設定を行います。

繰り返し : エラー発生時にDIGITAL OUTのHDCP設定を繰り返します。

マスク画面出力 : エラー発生時にDIGITAL OUTのHDCP設定を停止し、マスク画面を出力します。 マスクカラーは、[05.HDCPマスク色]から選択してください。

[**10. ED I D 取得待機時間**] ホットプラグ検出から ED I D の 取得開始の時間を 設定します。

設定可能時間 :プルダウンから時間を選択します。 0秒、1秒、2.5秒、5秒、7.5秒、10秒から選択できます。

[11. SDI切断検知]

SDI LOOP OUT出力の切断方法を、常時出力と入力運動から選択することができます。

常時出力 : 入力信号に関係なく、常にSDI LOOP OUT出力を行います。 (無信号の場合、黒画面を出力します)

入力連動 : 入力信号に連動して、信号が切れた際にSDI LOOP OUT出力を切断します。

[12. SD I 切断待機時間]

接続されている入力信号が切断された際、切断検知までの待機時間を設定します。 ※[11.SDI切断検知]が「入力連動」設定時に有効です。

入力が切断された際の待機時間をプルダウンにて、即時/1秒/3秒/5秒/10秒と設定できます。

3. 設定方法

[13. HDMI&SDI切断検知条件] SDI INPUTから信号がなくなった時のDIGITAL VIDEO OUTPUTとSDI LOOPO UTの出力信号切断条件の設定を行います。

SDIキャリア : SDI入力のキャリアが検出できない場合に切断します。

SDI周期信号 :SDI入力の同期信号が検出できない場合に切断します。

4. 設定ファイル選択/保存

4-1. 設定ファイルの選択

概要:

コミュニケーションツールの設定ファイルを読込みます。

(1)画面下の「設定ファイル選択」ボタンをクリックしてください。

	\ \					
■ ITF-7200コミュニケーションツール Version 4.0.0.0				-		×
: ファイル(F) 設定(C) ヘルプ(H)						
本体設定 予備						
01. HDMIの表示サイズ指定	S01 1920×1080p 10	0. EDID取得待機時間	0秒 ~			
02. 出力モードHDMI DVIの切り替え	HDMI 11	1.SDIUUI抗検知	常時出力			
03. HDCPモードの切り替え	常時ON	2.SDH切断待機時間	~ 寺峒凤			
	*	いでSDI切断検知が「入力連動」選択時	のみ有効です。			
04. SDI LOOP OUT	UM⇒UM ∨ 18	8. HDMI&SDI切断検知条件	SDIキャリア			
05. HDCPマスク色	果					
06. HDMI切断検知時間	常時出力 ~					
07.2ケーラ報告 黒/有 ※01で入力解決費を500~1万に指定時のみ、 入力一覧人力に指定に対応します。 本項目設定法は、本体の電源を再投入してください。 08.2ケーラアスペクト 維持/無視	スケーラ無(入力に)道従) アスペクト維持					
09. HDCP再設定	繰り返し					
設定受信	設定ファイル名	設定ファイル通	設定ファイル保存	デフォルト設定	:	
ソフトウェア バージョン情報 FPGA	バージョン情報 5	SDIフォーマット SDD水平有効剤	経度 SDI垂直有効ライン数 SD	ロレームレート	<u>ا</u>	

- (2)「ファイルを開く」画面が表示されますので、
 - ①「ファイルの場所」で、該当のフォルダを選択して、
 - ② ファイル名で、拡張子が「usr」ファイルを選択してください。
 - ③「開く」ボタンをクリックしてください。

■ 開く		\frown		×
← → · ↑ 🔒 > PC	・ Windows (C:) > ITF-7200コミュニケ	ーションツール 1 、 で	ITF-7200コミュニケーションツールの	Q
整理 ▼ 新しいフォルダー		\bigcirc		?
🖈 クイック アクセス	名前 ^	更新日時 絵索を供に一致する項目はありません	種類 サイズ	
🐔 OneDrive		快来来にに 双り 2 復日はの7 あどれ	Je	
PC				
💣 ネットワーク				
2 771)	レ毛(N):	3	ユーザー設定ファイル(*.usr) 開く(O) キャンセル	~

(3) その後ファイルの読込み結果のメッセージが表示されます。

「ファイルの読込みに失敗」メッセージが表示された場合は、ファイルを確認してください。

4. 設定ファイル選択/保存

(4) ファイル読込みに成功すると、画面下の「ファイル名」に読込んだファイル名が表示されます。

 III-72004ミュニア-ソョンソール Version 4.0.0.0 ファイル(F) 設定(C) ヘルプ(H) 本(体験定 予備 				- L X
01. HDMIの表示サイズ指定	S01 1920×1080p ~	10. EDID取得待機時間	14少 ~	
02.出力モードHDMI DVIの切り替え	HDMI	11.SDI切断検知	常時出力	
03. HDCPモードの切り替え	自動判別	12.SDI切断待機時間 ※11でSDI切断検知が「入力対		
04. SDI LOOP OUT	UM⇒UM ∨	13. HDMI&SDI切断検知条件	: SDI##J7	
05. HDCPマスク色	グレー			
06. HDMI切断検知時間	常時出力 ~			
07.スケーラ機能 無/有 ※01で入力解像度を500~17に指定時のみ、 スケーラ無(入力に)追従)に対応します。	スケーラ有(表示固定)			
本項目設定後は、本体の電源を再投入してください。 08.スケーラアスペクト 維持/無視	アスペクト維持			
09. HDCP再設定	繰り返し			
設定受信 設定送信	設定ファイル名 ITF-7200コミュコ	ケーションツール.usr	設定ファイル選択	デフォルト設定
ソフトウェア バージョン情報 FPGA	▶ バージョン情報	SDI7#-マット SI	DD水平有効解像度 SDI垂直有効ライン	数 SDIフレームレート

4. 設定ファイル選択/保存

4-2. 設定ファイルの保存

概要:

コミュニケーションツールで設定した内容をファイルへ保存します。

(1) 画面下の「設定ファイル保存」ボタンをクリックしてください。(未設定の項目がある場合は、保存できません)

Ⅲ ITF-7200コミュニケーションツール Version 4.0.0.0	$\langle \rangle$			-		×
: ファイル(F) 設定(C) ヘルプ(H)	$\langle \rangle$					
41480,42 JP1/#						
01. HDMIの表示サイズ指定	S01 1920×1080p	10. EDID取得待機時間	0秒 ~			
02. 出力モードHDMI DVIの切り替え	HDMI	11.SDI切断検知	常時出力			
	Watou		97a *			
U3. HDCP七ード()切り替え	'#∎ d ∩N	12. SD(の)(所得機時間) ※11でSD(の)(所検知が「入力)連動」)	選択時のみ有効です。			
04. SDI LOOP OUT	UM⇒UM ∨	18. HDMI&SD切断検知条件	SDIキャリア			
		$\langle \rangle$				
05. HDCPマスク色	黒	$\langle \rangle$				
06.HDMI切断検知時間	常時出力 ~	$\langle \rangle$				
		\backslash	\			
07.スケーラ機能無/有 ※01で入力解像度をS00~17に指定時のみ、 フケーラ無(入力)に発送したけによす。	スケーラ無(入力に追従)		\backslash			
本項目設定後は、本体の電源を再投入してください。 08.スケーラアスペクト 維持/無視	アスペクト維持		\mathbf{A}			
			$\langle \rangle$			
09. HDCP再設定	繰り返し		$\langle \rangle$			
	設定ファイル名				_	
設定受信 設定送信		設定7	アイル選択	デフォルト設定	Ē	
ソフトウェア バージョン情報 FPGA	バージョン情報	SDD#~7%F SDD#¶	P有効解像度 SDI垂直有効ライン数 S	ロレームレー	·	

- (2)「名前を付けて保存」画面が表示されますので、
 - ①「保存する場所」で、保存したいフォルダを選択して、
 - ② ファイル名で、ファイル名を入力してください。拡張子usrは自動で付加されます。
 - ③「保存」ボタンをクリックしてください。

■ 名前を付けて保存	> Windows (C:) > ITF-7100.	コミュニケーションツール	1 ~ 0	ITF-7100コミュニケーシ	ョンツールの	< م
整理 ▼ 新しいフォルダー						?
★ クイック アクセス ← OneDrive	名前 ^	更新 検索条件に一致する	日時 5項目はありません。	種類	サイズ	
💻 PC						
2 ファイル名(N): ファイルの種類(T): ユーザ-	-設定ファイル(*.usr)					
▲ フォルダーの非表示			3	保存(S)	キャンセル	,

(3) その後、ファイルが既に存在する場合は上書きを確認するメッセージ、ファイルが存在しない場合はファイルを 新しく作成するメッセージが表示されます。それぞれ「はい」ボタンをクリックすればファイルが作成され、「フ ァイルの書き込みに成功」のメッセージが表示されます。

5. 設定送信/設定受信

5-1. 設定送信

概要:

コミュニケーションツールで設定した内容をITF-7200へ送信します。

(1)「設定送信」ボタンをクリックしてください。(未設定の項目がある場合は、送信できません) ※設定送信を行うには、ITF-7200をパワーオン状態にしてください。

100 ITF-7200コミュニケーショングール Version 4.0.0.0				– 🗆 X
: ファイル(F) 設定(C) ヘルブ(H) 本(体設定 予備				
01. HDMIの表示サイズ指定	S01 1920x1080p v	10.EDID取得待機時間	0秒 ~	
02. 出力モードHDMI DVIの切り替え	HDMI	11.SD比切断検知	常時出力	
03. HDCPモードの切り替え	常時ON	12.SDI切断待機時間 ※11でSDI切断検知が「入力連動」選択で	即時	
04. SDI LOOP OUT	UM⇒UM ∨	18. HDMI&SDI切断検知条件	SDIキャリア	
05.HDCPマスク色	黒			
06. HDMI切斯検知時間	常時出力 ~			
07.スケーラ機能、無/有 ※01で入力解除度な500~17に指定時のみ スケーラ悪(入力に3時位)に対応します。	スケーラ無(入力に追従)			
本項目設定後は、本体の電源を再投入してなさい。 08.スケーラアスペクト維持/無視	アスペクト維持			
09. HDCP再設定	繰り返し			
設定受信 設定送信	設定771ル名	設定ファイル	選択 設定ファイル保存	デフォルト設定
ソフトウェア バージョン情報 FPGA	バージョン情報	SDIフォーマット SDI水平有効	解像度 SDI垂直有幼うイン数	SDI71/-41-1-

- (2) 確認のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。
- (3) 設定送信に成功するとメッセージが表示されます。 通信エラーのメッセージが表示された場合は、 ITF-7200とPC間の接続やコミュニケーションツールの通信設定を確認してください。

5. 設定送信/設定受信

5-2. 設定受信

概要:

ITF-7200の設定内容をコミュニケーションツールへ受信します。

(1)各「設定受信」ボタンをクリックしてください。

※設定受信を行うには、ITF-7200をパワーオン状態にしてください。

ITF-7200⊐ミュニケーションツール Version 4.0.0.0				-	×
: ファイル(F) 設定(C) ヘルプ(H)					
本体設定予備					
01. HDMIの表示サイズ指定	S01 1920x1080p v	10.EDID取得待機時間	0秒 ~		
02. 出力モードHDMI DVIの切り替え	HDMI	11.SDI切断検知	常時出力		
03. HDCPモードの切り替え	常時ON	12. SDI切断待機時間	即時		
		※11でSDI切断検知が「入力連動」選択時	のみ有効です。		
04. SDI LOOP OUT	UM⇒UM ∨	13. HDMI&SDI切断検知条件	SDIキャリア		
05. HDCPマスク色	黒				
06. HDMI均附行使失印時間	常時出力 ~				
07.スケーラ機能無/有 ※01で入力解像度を300~17に指定時のみ、 スケーラ悪(人力)に3回2に対応します。	スケーラ無(入力に追従)				
本項目設定復し、本中の電源を再接入していたとい。 08.スケーラアスペクト 維持/無視	アスペクト維持				
09. HDCP再設定	繰り返し				
·					 _
設定受信 設定送信	設定ファイル名	設定ファイルえ	諸沢 設定ファイル保存	デフォルト設定	
ソフトウェア バージョン情報 FPGA	バージョン情報	SDIフォーマット SDD水平有効	解像度 SDI垂直有効ライン数	SDI7U-4U-H	
II.					

- (2) 確認のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。
- (3) 設定受信に成功するとメッセージが表示されます。 通信エラーのメッセージが表示された場合は、 ITF-7200とPC間の接続やコミュニケーションツールの通信設定を確認してください。

5. 設定送信/設定受信

5-3. 受信内容

概要 :

設定受信を行うと、ITF-7200の設定内容の他に受信時の情報をコミュニケーションツール下部に表示します。

設定受信 設定	記定ファイル名	設定ファイル選択	設定ファイル保存	デフォルト設定
	FPGA バージョン情報 SDD	SDb水平有効解像度 3 4	SDI垂直有効ライン数	50174-44-1

①: ITF-7200のソフトウェアバージョンを表示します。



②: ITF-7200のFPGAバージョンを表示します。



③:現在のSDIフォーマットを表示します。

SDIフォーマット	
UM	

※「不明」の場合は入力ソースがない、またはケーブルの接続状態 を確認してください。

④:現在のSDI受信解像度を表示します。

例:1920×1080

SDD水平有効解像度	SDI垂直有効ライン数
1920	1080

⑤:現在のSDIフレームレート値を表示します。

SDIフレームレート	
UMまたは設定以外	

例:	1280×720
----	-------------------

SDD水平有効解像度	SDI垂直有効ライン数
1280	0720

6. デフォルト設定

6-1. デフォルト設定

概要:

コミュニケーションツールで設定した内容をデフォルトの値に戻す設定です。

- ※ 一度デフォルト設定を行うと、設定した内容は失われてしまいます。
- ※ 設定送信を行うまでITF-7200へは反映されません。
- (1)各「デフォルト設定」ボタンをクリックしてください。

■ ITF-7200コミュニケーションツール Version 4.0.0.0	`			-		×
: ファイル(F) 設定(C) ヘルプ(H)	\backslash					
本体設定 予備						
01. HDMLの表示サイズ指定	S01 1920×1080p →	10. EDID取得待機時間	0秒 ~			
02. 出力モードHDMI DVIの切り替え	HDMI	11.SDI切断検知	常時出力			
03. HDCPモードの切り替え	常時ON	12. SDUDI所待機時間 ※1175SDL20時持续時間	即時			
04. SDI LOOP OUT	UM⇒UM ∨	18. HDMI&SDI切板検知条件	SDIFryJ7			
05. HDCPマスク色	黒					
06. HDMI切断検知時間	常時出力 ~		\backslash			
07.スケーラ機能 無/有 ※01で入力解像度をS00~17に指定時のみ、 スケーラ無(入力に追旋)に対応します。	スケーラ無(入力に追従)					
本項目設定後は、本体の電源を再投入してください。 08.スケーラアスペクト 維持/無視	アスペクト維持					
09. HDCP再設定	繰り返し					
				<u> </u>		
設定受信	設定ファイル名	設定ファイル	選択 設定ファイル保存 テ	フォルト設定	D	
ソフトウェア バージョン情報 FPGA	バージョン情報	SDIフォーマット SDD水平有効	解像度 SDI垂直有効ライン数 SDI	71-41-1		

- (2) 確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。
- (3) デフォルト時の状態に戻ります。



7-1. ツールの終了

概要:

コミュニケーションツールの終了の方法です。

(1) 本ツールを終了する場合は、画面右上の⊠ボタンをクリックするか、画面左上の[ファイル] → [終了] ボタンを クリックします。

□ ITF-72001ミュニナーション/1-₩ Version 4.0.0.0 -	×
 ファイル(F) 設定(C) ヘルプ(H) 	\checkmark
本種設定一子備	

(2) 下記メッセージが表示されるので「はい」をクリックして、コミュニケーションツールを終了してください。

終了		\times
	設定ツールを終了します。よろしいですか?	
	OK ++>>セル	